⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わずに、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**
- **万一、異常が起きたら**

変な音やにおい、煙が出た場合は

❶ **ビデオカメラの電源を切る**
❷ **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号	行為を禁止する記号
火災 感電	禁止 接触禁止 分解禁止

⚠警告 火災 感電 **下記の注意事項を守らないと、火災・感電により死亡や大けがの原因となります。**

点灯したまま放置しない
禁止
放置したまわりの状況によっては火災の原因となることがあります。使用しないときは必ずビデオカメラの電源スイッチを「OFF」にしてください。

ビデオカメラに取り付けたままケースに収納しない
禁止
万一誤ってビデオカメラの電源スイッチおよび本機のスイッチが「ON」になると、発煙、発火の原因となることがあります。

点灯中と消灯直後のランプにさわらない
接触禁止
ランプ及びその周辺は非常に高温になるのでやけどの恐れがあります。ランプの交換や収納は充分に冷えてから行ってください

指定以外のランプは使用しない
禁止
火災の原因となります。

放熱孔をふさがない
禁止
内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

紙や布などの燃えやすいものを近付けない
禁止
火災の原因となります。

湿気やほこりの多い場所では使わない
禁止
感電や火災の原因となることがあります。

アルコールやベンジン等揮発性、引火性の高い薬品を近付けたりライトの近くに置いたりしない
禁止
発火、発煙の恐れがあります。

分解しない
分解禁止
内部には電圧の高い部分があり、分解したりすると感電の原因となります。
内部の点検などはお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属類を落とさない
禁止
そのまま使用すると、火災や事故、故障の原因となります。

⚠注意 **下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

熱くなったガラスに水などをかけない
禁止
破損し、けがをすることがあります。

点灯中のランプやフラッシュを直接見ない
禁止
強力な光は目を痛める恐れがあります。

取り扱い上のご注意

- 点灯中のライトにショックを与えないでください。ランプが切れたり寿命が短くなったりすることがあります。
- バッテリーをビデオカメラと共通に使用していますので、ビデオライト使用時は、撮影時間が通常撮影時より短くなります。
- 本機を持って、ビデオカメラを持ち上げないでください。

お手入れのしかた

時々、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布でふいてから、もう一度からぶきしてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

主な仕様

ランプ部

ランプ電圧	DC 6V
ランプ	3W
最大光度	約100cd
照射方向	水平
照射角度	20度

ランプ点灯時連続録画時間（フラッシュ不使用時）

モード / バッテリーパック	ビューファインダーで撮影時（CCD-TRV95使用時）	液晶画面で撮影時（CCD-TRV95使用時）
NP-F550	約90分	約70分
NP-F750	約160分	約130分
NP-F950	約260分	約210分

（上記はそれぞれのバッテリーパックが充分に充電されている場合の、おおよその時間を示しています。）

撮影距離	1m：約100ルクス 2m：約25ルクス 3m：約12ルクス
色温度平均	3,000°K
ランプ寿命	約100時間

フラッシュ部

フラッシュ寿命	約1,500回

その他

消費電力	3.8W
最大外形寸法	約40×81×65.5mm （幅/高さ/奥行き）
質量	約90g
付属品	ポーチ（1個） 取扱説明書（1部） 保証書（1部） ソニーご相談窓口のご案内（1部）
別売りアクセサリー	交換用ハロゲンランプ、XB-3D

※ 本機をご使用の際、"インフォリチウム"バッテリーと"インフォリチウム"対応のビデオカメラをご使用になると、残量表示が正しく表示されないことがあります。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービス窓口へ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- **型名：**HVL-FDH2
- **故障の状態：できるだけ詳しく**
- **購入年月日**

SONY 3-862-664-**02** (1)

ビデオフラッシュライト

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

HVL-FDH2

Sony Corporation © 1998 Printed in Japan

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

この純正マークは、ソニー（株）のビデオ機器関連商品が純正製品であることを表すマークです。ソニー（株）のビデオ機器をお求めの際は、純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。

Intelligent Accessory Shoe

このマークの商品は、ソニー（株）のビデオ機器の"インテリジェントアクセサリーシュー"システムに対応しています。このシステムを搭載したビデオ機器とアクセサリーを組み合わせることにより、目的に合わせた効果的な撮影が簡単に行えます。

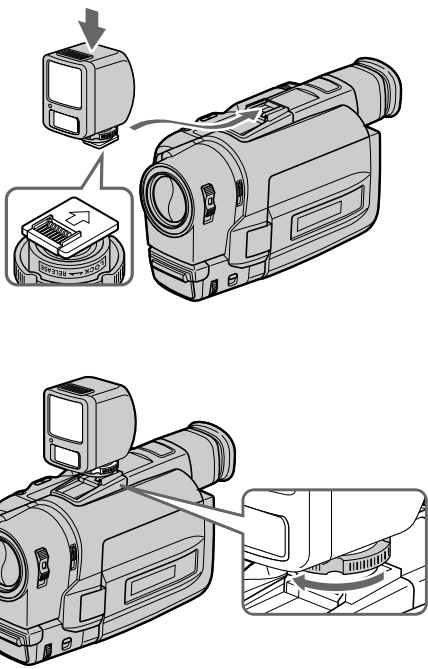
主な特長

- ビデオカメラに取り付けて使う、フラッシュとライトの機能を兼ね備えた、1台2役のビデオフラッシュライトです。
- インテリジェントアクセサリーシュー付きのビデオカメラに対応しているため、電源はビデオカメラ側から供給できます。
- ライト部は、ビデオカメラのスタンバイ／ロックに連動して電源のON／OFFができます。また、暗くなると自動的に点灯するAUTO機能を備えています。
- フラッシュ部は、フォトモード機能付きビデオカメラのフォトモード撮影に対応しています。また、被写体との距離に合わせて光量を調節するため、撮影した映像が白く飛んでしまうのを防ぎます。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111

取り付ける

1 ビデオカメラのインテリジェントアクセサリーシューに、本機の裏面にある矢印の方向にあわせて**上から押しながら**つきあたるまで差し込む。

2 固定つまみをカチッと音がするまで「LOCK」側に回し固定させる。

取りはずすとき

1 固定つまみを「RELEASE」側に回してゆるめる。
2 **上から押しながら**前に引き出してはずす。

ご注意

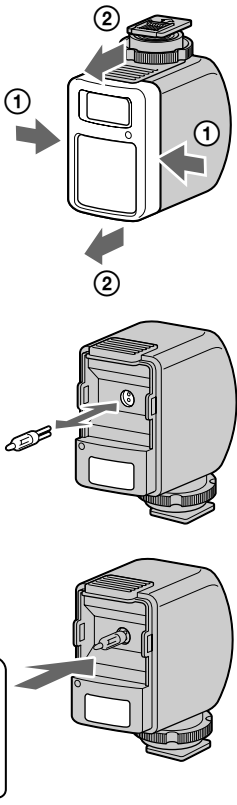
- 本機が差し込めないときは、固定ツマミを「RELEASE」側にとまるまで回してください。固定ロックが解除されます。
- 本機を逆に差し込まないよう、矢印の方向を確認してから取り付けてください。

ランプを交換するには

交換用ランプはソニーハロゲンランプ、XB−3D（別売り）をお使いください。
点灯中に切れた場合はランプ本体が冷えてから交換してください。

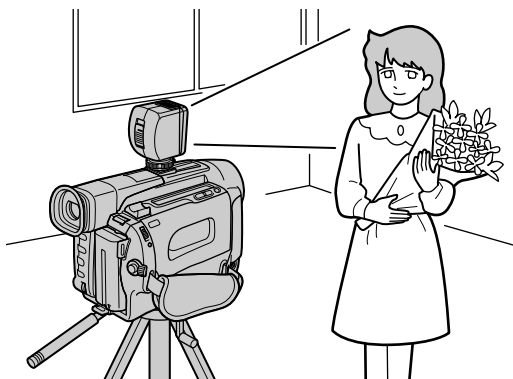
1 本体が冷えたことを確認後、フロントカバーをはずす。

2 ランプが充分に冷えてからランプの根元をもって差し替える。
ランプの根元の差し込み口にまっすぐに抜き差しする。

3 反射板の穴にランプが入るようにしてフロントカバーをまっすぐに取り付ける。

ご注意

- 点灯中に切れたランプは、高温になっています。ランプが冷えてから交換してください。
- 新しいランプは直接手で触れずに、乾いた布などでくるんで取り付けてください。ランプの表面に指紋や汚れが付いたときは、きれいに拭き取ってください。
- 内部には電圧の高い部分があり、分解したりすると感電の原因となります。
内部の点検などはお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

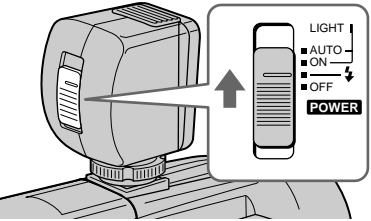
被写体へのライトの当てかた

- 室内撮影の時などに使用しますと、被写体をきれいに写せます。
- 広角の画面撮影時には周辺の光量が不足します。その時は中央の被写体に効果的なスポットライトとしてご使用ください。
- 逆光の場合、ライトを併用すると、被写体の大切なポイント（人物の顔など）が暗くなりません。
屋外撮影では、カメラを太陽に向けないようにご注意ください。室内照明が蛍光灯の場合、画像にちらつきがでることがあります。ビデオライトを併用すると色ムラが消え、比較的きれいな画像になります。

ビデオフラッシュを使う

フラッシュはフォトモード機能付きのビデオカメラで使えます。
ここではCCD-TRV95を例に説明しています。ビデオカメラの詳しい操作については、お手持ちのビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

1 ビデオカメラの電源スイッチを「カメラ」にする。
スタンバイスイッチが「ロック」になっていないことをご確認ください。

2 本機の電源スイッチを「ϟ」にする。
本機が充電を開始します。充電を完了するとビデオカメラのファインダーや液晶画面に「ϟ」マーク（充電完了マーク）が表示されます。

3 ビデオカメラのフォトボタンを軽く押したまま画像を確認する。フォトボタンは軽く押したままにしておく。
フラッシュがフォトボタンに連動して発光します。画像が静止画になり、メモリー表示が出ます。このとき記録はされません。
画像を選びなおすときはフォトボタンを離します。フォトボタンを離すと、本機は再び充電を始めます。「ϟ」マーク（充電完了マーク）が出てからもう1度フォトボタンを軽く押してください。

フォトボタンを押すと、ビデオカメラが明るさを自動調節するために、画像が暗くなったり、色が変わって見えることがあります。

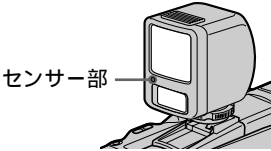
4 ビデオカメラのフォトボタンを強く押し込む。
ボタンを押し込んだときの画像が約7秒間静止画で記録されます。記録中の音声も同時に録音されます。記録中は取り込んだ画像がファインダーまたは液晶画面に出ています。
フォトボタンを離すと、画像の記録後、本機は自動的に充電を開始します。

使い終わったら

本機の電源スイッチを「OFF」にする。

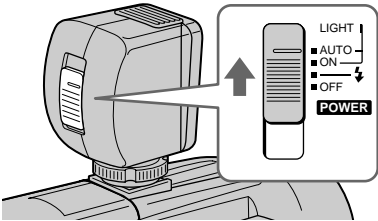
ご注意

- 撮影時、本機のセンサー部を指などでふさがないでください。被写体との距離がわからなくなり、光量を調節できなくなります。
- 本機のフラッシュの連続発光を続けると、保護回路が働き、一時的に本機が使用できなくなる場合があります。その際には、本機のスイッチをOFFにして、5〜10分放置した後ご使用ください。

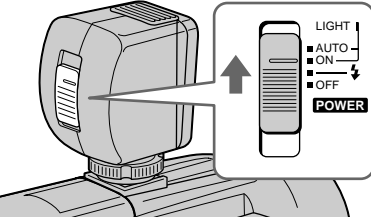
- 本機はバッテリーをビデオカメラと共通に使用しています。バッテリーの残量が少なくなると、充電時間が長くなります。
- 本機が充電されたあとでも、次の場合には使用時に再充電されます。
−本機の電源スイッチを「OFF」にしたあと
−ビデオカメラのスタンバイスイッチを「ロック」や「スタンバイ」にしたあと

ビデオライトを使う

暗い場所で自動的に点灯させるとき

1 本機の電源スイッチを「LIGHT AUTO」にする。

2 ビデオカメラをスタンバイ状態にする。
撮影時、暗い場所では自動的にライトが点灯します。
撮影スタンバイ中は約5分たつと自動的に消えます。
点灯中に消すときはスタンバイ状態を「OFF」または「ロック」にします。

ビデオカメラのスタンバイ状態と連動して点灯させるとき

1 本機の電源スイッチを「LIGHT ON」にする。

2 ビデオカメラをスタンバイ状態にする。
連動してライトが点灯します。
消すときはスタンバイ状態を「OFF」または「ロック」にするか、電源スイッチを「OFF」にします。

使い終わったら

本機の電源スイッチを「OFF」にする。

ご注意

- ビデオカメラのスタンバイ状態が長いとバッテリーの消耗が早まります。こまめにスタンバイ状態を「OFF」または「ロック」にしてください。
- ご使用にならないときは、付属のポーチに収納してください。
- 収納するときは、本機が充分に冷めているのを確認してください。